

スタッフの皆さん、日々の業務にご尽力いただきありがとうございます。

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」とよくいわれますが、その言葉どおり2022年ももう2月半ばとなりました。

2月といえば毎年プロ野球のキャンプが始まる時期です。野球好きの方は早くもごひいきのチームの活躍が楽しみで、今から期待に胸を膨らませているのではないのでしょうか。

野球と聞いて思い出すのが、昨年アメリカの大リーグで活躍した大谷翔平選手。野球に興味のない方でも、その名前を耳にしたことがあると思いますが、じつは同時によくないことも思い出してしまいます。

昨年、あるプロ野球選手の道具が、球場の選手ロッカールームから盗まれる被害がありました。選手の道具を盗んだのは、この球場に出入りしている清掃スタッフだったそうです。

また別の事例ですが、ホテルの清掃業務中に宿泊客の腕時計を盗んだとして、ホテルの清掃スタッフが逮捕されるということもありました。

この報道を聞いて、同じ清掃のお仕事に携わっている者として、悲しくもあり腹立たしくもありました。

私たちはトイレや玄関など人通りが多い場所だけを清掃するわけではありません。関係者以外立入禁止の場所や、施錠管理された厳重な区域など、建物のあらゆる場所で清掃に入ります。私たちの仕事は、お客様の信頼の上に成り立っています。そのお客様の信頼を裏切らないよう、これまで同様、今後も「誠心誠意」お仕事に取り組んでいきましょう。

今回は、お客様の信頼を損ねないために、業務を行う上でしてはいけないことをご紹介します。

ごみ回収にも気をつけよう

そのごみは捨ててもいいですか？



ごみ回収を行うとき、左の写真のような状態を見たことはないでしょうか。

写真①から④のいずれも、廃棄物として処分してよいかどうか迷ってしまいます。とくに封筒に書類が入っていたり、紙袋に何か入っていたりすると、なおさら判断が付きません。

このように見分けがつかない場合は、自分の判断で廃棄してはいけません。まずは近くの従業員の方に捨ててよいものかどうか確認しましょう。

もし周囲に誰もいない場合は、捨てないでそのままにしておきましょう。ごみ箱の中に完全に入っていないものを捨ててはいけません。④は明らかですが、①から③はごみ箱の上に置いただけかもしれません。

そして、廃棄してもよいかどうか区別がつかなかったため、そのまま残しておいた旨のメモを残しておきましょう。そうすれば後日、処分するかどうかの回答が得られると思います。

ごみ回収にも気をつけよう

どうせ捨てるのなら持って帰ろう

皆さんが担当場所で集めたごみ、その中に段ボールがありました。ちょうど自宅の引っ越し準備をしていたところで、段ボールがあると助かるなと思い、どうせ廃棄するものだからと自宅にその段ボールを持ち帰りました。

こうした行為は絶対にやってはいけません。段ボールに限らず、たとえ現場で廃棄すると分かっているものでも、そこにはお客様や取引先の名称や住所など、個人情報保護の対象になる企業情報が記載されている場合があります。段ボール1つでも無断で持ち出すと、情報漏洩の責任を問われます。

どんな廃棄物でも無断で施設外に持ち出してはいけません。



それは正しいことでしょうか

1つくらいならいいだろう

私たちの清掃作業では、たくさんの清掃用具や消耗品を使用します。洗剤やスポンジ、ブラシ、トイレトーパーに手洗い石鹸、ビニール袋など。こうした用具や備品、消耗品は毎日の作業で使用するため、たくさん在庫を置いています。

そこで、たくさん在庫があるのだから、1つくらいなら構わないだろうと、軽い気持ちで自宅に持ち帰ってはいけません。

業務に使用する用具や備品、消耗品はお客様のもの、あるいは会社のものです。それを無断で持ち帰ることは絶対にやめましょう。



ちょっと貸してくれませんか？

皆さんの清掃場所で、鍵やカードキーを借りてから清掃作業を行う部屋はありませんか。こうした場所では、守衛室や受付で、いつ・誰が・どの鍵を借りたかを記帳してから、作業に入ることが多いと思います。

そして作業が完了すれば、借りた鍵やカードキーは速やかに返却しなければなりません。借りたまま自宅に持ち帰ったり、どこかに落として紛失したりしてはいけません。

また、あなたが借りた鍵を別のスタッフに又貸してはいけません。なぜならその鍵は、清掃作業のために、お客様があなたを信頼して貸したものだからです。

もしあなたが又貸した鍵を、借りた別のスタッフが紛失してしまったらどうでしょう。鍵を紛失したことよりも、貸し借りしたことの方が、お客様の信頼を失うのではないのでしょうか。



新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)について

オミクロン株の初期症状

風邪の症状(発熱、咽頭痛、上気道症状など)とほぼ同じといわれています。

味覚や嗅覚の異常のような症状は少ないとされています。



濃厚接触者の定義

濃厚接触者とは、陽性になった人と一定の期間に接触があった人のことをいいます。

以下の条件を満たす場合は濃厚接触者

- 陽性者(症状あり) 発症した日の2日前から
- 陽性者(症状なし) 検体を採取した日の2日前から
- 同居している人
- 車内など狭い場所で陽性者と長時間接触した
- マスクなしで陽性者と1m 以内で15分以上接触した

自宅療養で経過観察する上での注意点

厚生労働省は、自宅療養または宿泊療養で経過観察する際、「緊急性の高い症状」に該当するときは、ただちに以下の窓口に連絡することとしています。

- 自宅療養 各都道府県の連絡・相談窓口
- 宿泊療養 宿泊施設に配置された看護師等

緊急性の高い症状 ※は家族等が以下の項目を確認した場合

表情・外見	<ul style="list-style-type: none">●顔色が明らかに悪い ※●唇が紫色になっている●いつもと違う、様子がおかしい ※
息苦しさ等	<ul style="list-style-type: none">●息が荒くなった(呼吸数が多くなった)●急に息苦しくなった●生活をしていて少し動くと息苦しい●胸の痛みがある●横になれない、座らないと息ができない●肩で息をしている●突然(2時間以内を目安)ゼーゼーしはじめた
意識障害等	<ul style="list-style-type: none">●ぼんやりしている(反応が弱い) ※●もうろうとしている(返事がない) ※●脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする

自宅療養に備えておくもの

自宅療養の期間中は、外出を避けなければなりません。食料品や日用品を2週間分(目安)備蓄しておくで安心です。また、健康保険証はすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

自宅療養に備えておきたいもの

食料品	<ul style="list-style-type: none">●スポーツ飲料や経口補水液●ゼリー飲料●ペットボトルや缶入り飲料など●レトルト食品やインスタント食品●パックごはん●缶詰や冷凍食品
クスリなど	<ul style="list-style-type: none">●常備薬や解熱鎮痛薬●体温計(電池残量を確認)●マスク●アルコール消毒液
日用品	<ul style="list-style-type: none">●トイレットペーパー●ティッシュペーパー●ゴミ袋●生理用品●おむつ●洗剤や手洗い石鹸

家庭内で注意すべき8つのこと

新型コロナウイルス感染症と診断され、一定の条件を満たした場合は、自宅での療養を行うこととなりました。

自宅で家族や同居の方、周囲の方に感染を広げないために、感染予防の8つのポイントを実践しましょう。



① 部屋を分けましょう

- できるだけ部屋を分けて個室にする。
- 食事や寝るときも別室にする。
- 2m 以上離れて、カーテンなどで仕切る。

② 感染者の世話は限られた方で

- できれば看病する人は1人に限定する。
- 心臓や肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避ける。

③ マスクを着用しましょう

- 感染者、同居の方のどちらもマスクを着用する。
- 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないようにする。
- マスクを外した後は、必ず石鹸で手を洗う。

④ こまめに手を洗いましょう

- こまめに石鹸で手を洗い、手指のアルコール消毒を行う。
- 洗っていない手で、目や鼻や口を触らないようにする。

⑤ 換気をしましょう

- 定期的に換気する。
少なくとも1時間に1回、10分大きく窓を開けて換気する。
- 対角線上に窓を開けて換気する。

⑥ 手で触れる部分を清掃・消毒しましょう

- ドアノブ、照明のスイッチ、リモコン、トイレのレバーなどを100倍に薄めた家庭用洗剤で拭き掃除する。
- 消毒するときは、薄めた塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きする(濃度 6%の場合、水3ℓに液 5 ml)。

⑦ 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- 手袋とマスクを着用して、家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾燥させる。

⑧ ごみは密閉して捨てましょう

- 鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れる。
- 外に出すときは密閉して捨てる。その後、すぐに石鹸で手洗いする。

厚生労働省「家庭内でご注意いただきたいこと」、東京都保健福祉局「新型コロナウイルス感染症自宅療養者向けハンドブック」をもとに作成

業務連絡

引き続き感染対策の徹底をお願いします

先月に引き続き、新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)が広がっています。

個人の感染対策の徹底をお願いします。

また、ご自身あるいはご家族や同居されている方が感染したり、濃厚接触者となったりした場合は、すぐに現場担当者もしくは本社にご連絡ください。

その後の対応を連絡しますので、よろしくをお願いします。

